



完成度の高い映像には選び抜かれた音源が似合います。さまざまな撮影現場には頼れる音づくりの道具が必要です。あなたが選ぶのはどのミキサーですか？

現場定番のフィールドミキサー® さらなる音質の追求

意図した音源を集めることに卓越したコンパクトツール

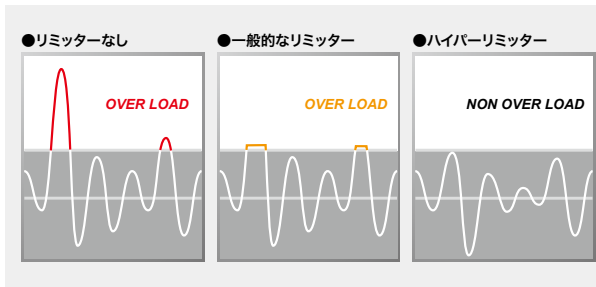
※フィールドミキサーは日本ビデオシステムの登録商標です。

HYPER LIMITER プロテック独自の技術「ハイパーリミッター」をフィールドミキサーシリーズ全機種に搭載

302P 305 300 40X 405 805
ALL FIELDMIXERS

各チャンネル独立ハイパーリミッター搭載 Independent hyperlimiter for each channel

従来のコンパクトミキサーにみられるリミッターと違い、本格的卓上ミキサーと同様に入力側リミッターを配置し、コンプレスによる音質の変化を最小限にとどめています。鋭く響く突発的な過大音量に瞬時に反応し音割れをほとんどゼロの状態に保つ特性を持っています。ハイパーリミッターにより、限りなく収録事故を回避することが可能です。各チャンネル独立ハイパーリミッターは、音像の定位を崩さないリアルな音源収録を可能にしています。



クイックアクティブ/ナチュラルリリース Quick active / natural release

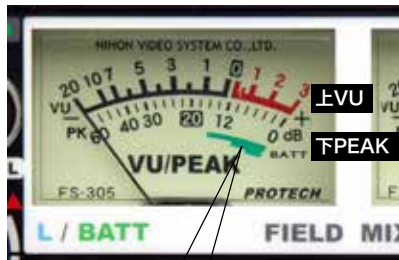
ハイパーリミッターは、ある一定の音量を超えた部分をカットしてしまうのではなく、波の形そのものは残して、ひずみのない領域まで抑えるという性能をもっています。また、過大入力音を抑えたその後はナチュラルリリースにより音像を崩さないスムーズなリミッター解除を実現しており、特にインパクト音の混在する音源収録に威力を発揮します。

VU/PEAK フィールドミキサーのみならず、音声調整をより強力にサポートする VU/PEAK 切替式メーター

302P 305 300 40X 405 805
ALL FIELDMIXERS

VUとPEAKの2Way切替メーター搭載 VU and PEAK 2-way switching meter

一般的に幅広く使われ、ヒトの耳が感じる音量感がそのまま現れる「VUメーター」と、デジタルレコーダーに採用されていることが多い、音圧のピーク値を表示する「PEAKメーター」の両モードを操作パネル前面の切替スイッチにより瞬時に切り替えることが可能で、同一音のPEAKとVUレベルを同時に確認することが可能です。これによりレコーダー特性を考慮したレベル調整が容易にできます。

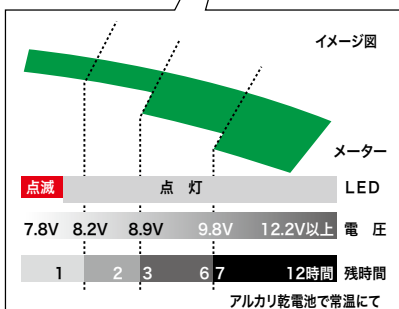


なぜVUメーターとPEAKメーターが必要か

VUメーターの指示値は0.3秒間の平均値となっており、-20dBから+3dBで表示されるアナログレコーダーに適しています。PEAKメーターの指示値は入力信号の瞬間最大値を表示し、最近のデジタルレコーダーなどに採用されているタイプで、約10msで素早く立ち上がり、約1.5sでゆっくり戻ります。-60dBから0dBで表示されており、低レベルの入力から大音量まで幅広く表示します。デジタルレコーダーは過大入力が入ると音が極端に歪んだり無音状態になったりするので、録音可能レベルである0dBを必ず越えないようにPEAKメーターで確認することが必要となってきます。

バッテリーの残量表示 Battery level indicator

バッテリー切れによるトラブル防止のため、バッテリー残量をメーター上に3段階で表示すると同時に、おおよその駆動可能時間を知ることが可能です。



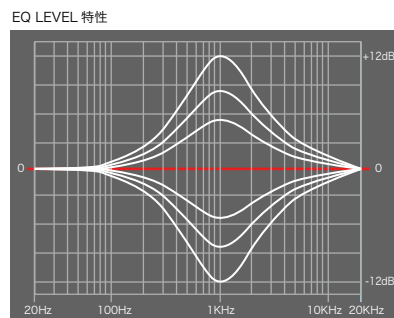
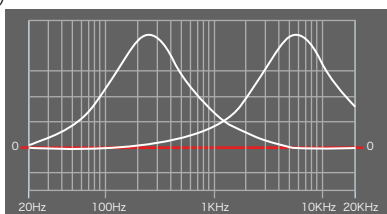


各チャンネル独立イコライザー
FRQ と LEVEL の2つのつまみによる簡単調整

302P 305 300 40X 405 805

各チャンネルに独立してイコライザーを内蔵 Built-in equalizer for each channel independently

音にフィルターを自在にかけることでヒトの聴覚に近づけた収録を可能としました。スピーディーな調整が可能となるよう2つのつまみ（音域のサーチつまみ/音量のレベルつまみ）によるシンプルな構成で、各チャンネルそれぞれに用意されています。音域のつまみはFRQ（周波数）EQ FRQ 特性つまみが受け持ち、低域 250Hz～高域 8kHz の間で自由に設定できます。FRQ つまみで特定した音域は LEVEL（音量調整）つまみによって -12dB～+12dB の間で設定できその音域の強調または抑え込みができます。

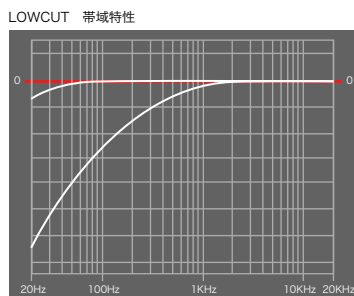


ローカットフィルター

302P 305 300 40X 405 805
ALL FIELDMIXERS

自然雑音を強力に低減
Powerful reduction of natural noise

街角での収録においては風雑音等の低域ノイズが多く、これに対応するためローカットフィルターの変可帯域を広めました。かつ、フィルター特性を見直すことでインタビュー音声などが、ノイズに埋もれることなくこれまで以上に明瞭にとらえることを可能にしました。



現場の声から生まれた機能

暗闇での視認性を確保

暗闇での視認性を確保するためにボリュームLED、及び、メーターバックライトを搭載しました。また、電力の消費を少しでも軽減させる場合を考慮し、前面にライトのON/OFFスイッチを配置しました。



INPUT

302P 305 300 40X 405 805
ALL FIELDMIXERS

操作性のよいチャンネルフェーダー Easy-to-use channel fader

入力のチャンネルフェーダーは、小型ながらフィット感があり、適度な重さを加えてあるため微妙な調整力を持っています。さらに、暗闇での視認性を考慮し、音量ポイントにLEDを装備しました。



幅広い入力レンジを確保
Secure a wide input range

入力端子は、キャノン3ピンコネクタを採用。入力モードは「P-MIC」ファンタムマイク、「D-MIC」ダイナミックマイク、「LINE」ラインマイクの3モード切替方式で、よりスピーディーなセッティングを可能にしました。入力レベル設定モードは、マイク入力時 -70dBm から -36dBm、LINE 入力時は -30dBm から +4dBm まで対応。微妙なレンジ調整が可能です。ファンタム電源は P-48 および AB-12 の2種類に対応しており、各チャンネルごとの混在使用も可能です。

OUTPUT

302P 305 300 40X 405 805
ALL FIELDMIXERS

4ポジション構成のマスター出力レベル 4-position master output level

マスター出力端子は、キャノン3ピンコネクタを採用し、+4/0/-20/-60dBm の4つのポジション構成からなる出力をLR独立設定できます。これにより様々な入力レベルを持ったレコーダーへの対応を可能にしています。さらに、オーディオバックアップ記録なども考慮してサブ出力としてRCA端子も装備しました。

現場の声から生まれた機能

302P 305 300 40X 405 805

ポップアップ式のマスターボリュームで誤操作を防止

マスターボリュームをポップアップ式にすることで、不用意な誤操作を防止でき調整のしやすさを向上しました。



ヘッドホンジャックを前面と側面に配置

φ6.3ヘッドホンジャックを前面パネルに、さらに側面パネルにはφ3.5ミニジャックを搭載しました。2台のヘッドホンによる同時モニタリングも可能です。

POWER ACCESSORY

302P 305 300 40X 405 805

スライドバッテリーケースを採用
Adopt slide battery case

専用スライドバッテリーケースを採用したことにより、バッテリー交換を容易にしました。このバッテリーケースは単三型乾電池を8本収納することができ、ワンタッチでバッテリーケースの着脱を可能にしました。また、フィールドミキサーシリーズ (FS-805を除く) でスライドバッテリーケースの共有が可能です。



低消費電力化に成功したことで、アルカリ単三乾電池8本使用時でFS-302Pでは約14時間以上の連続駆動を実現しました。

AC電源 AC power
AC-M15
定価 7,000円



フィールドミキサーシリーズに電源供給するためのAC電源。

スライドバッテリーケース
Slide battery case
LR-68
定価 9,800円



FS-302P～405に標準付属する単三乾電池用スライドバッテリーケース。